

第6回がん診療セミナー

滋賀県立成人病センターでは、がん診療を担う若手医師養成を目的とした「がん専門医臨床研修プログラム」の一環として、毎月1回「がん診療セミナー」を開催しております。

このセミナーは、研修プログラムを受講する医師だけでなく、看護師、技師、その他の医療職を対象としたオープンセミナーとして開催いたします。県内医療機関のみならず、関心のある方でしたら、患者さんや一般市民など、どなたでもご参加いただけます。多数のみなさまの参加をお待ちしています。

7月21日(水)
17:30~19:00

分子標的薬時代の血液がん治療

20世紀後半の急速な分子生物学の発展に伴い、血液腫瘍の分野でも、その発症メカニズムが徐々に明らかになってきました。これに伴い、腫瘍細胞がその表面に特異的に発現しているタンパク質を標的とした薬剤や、病気の成立に直接関わる分子を標的とした薬剤が開発されるようになりました。これらの薬剤は従来の抗ガン剤と異なり、ピンポイントで働くため、原則として標的を発現していない細胞にはあまり影響を与えません。このような薬剤を「分子標的薬」と呼びます。これらの薬剤は従来の抗ガン剤（健康な細胞にも病的な細胞にも同じように働く）とは全く異なったメカニズムで働き、一般的には副作用も軽微であるため、抗ガン剤との併用で使用され、治療効果を高めたり、また、薬によっては単独で著しい効果を発揮するものもあります。

血液がん領域における、分子標的薬の目を見張る治療効果について解説いたします。

講演1: 悪性リンパ腫領域における分子標的治療

滋賀県立成人病センター血液・腫瘍内科 医 長 岡 論

講演2: 多発性骨髄腫: 最近の治療の進歩

滋賀県立成人病センター血液・腫瘍内科 副部長 浅越 康助

講演3: がん化学療法に伴う好中球減少症時のケア

滋賀県立成人病センター化学療法部

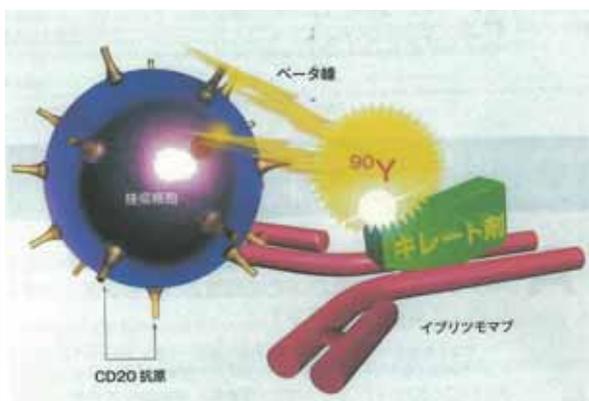
がん化学療法看護認定看護師 萬野 邦子

講演4: 経口分子標的薬の進歩

滋賀県立成人病センター薬剤部 薬剤師 宮川 周平

(司会進行)

滋賀県立成人病センター血液・腫瘍内科 科 長 内海 貴彦



イットリウム(90Y)イブリットマブ チェキセタン(遺伝子組換え)の直接照射による抗腫瘍効果(概念図)

【会場案内図】



日 時 平成22年7月21日(水) 17:30~19:00 (受付17:00~)

会 場 滋賀県立成人病センター 研究所講堂

【住所】守山市守山5-4-30

【交通】JR守山駅からバス約10分

対象者 医療関係者(一般の方のご参加も歓迎します)

定 員 150名(当日先着順)

申込不要・参加費無料

今回のセミナーは日本医師会生涯教育制度指定講習会(1.5単位)です。